

平成26年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

I 予算編成の考え方

公立大学法人島根県立大学は、平成19年度に3大学の統合により設立し、「島根県立大学憲章」に掲げる理念に従い教育研究の活性化及び地域貢献、国際交流等の推進に全学を挙げて取り組んできました。

平成26年度は、第2期中期計画期間（平成25年度～平成30年度）の2年目であり、これまでの取組の成果を継承し、第2期中期計画の達成に向けた取組を着実に進める年度となります。

一方で、法人運営の効率化を促す趣旨から平成26年度以後も引き続き運営費交付金の減額が継続される見込みであり、自律的な運営のための経費削減努力、効果的な事業執行、自己財源の確保等はますます必要となっています。

このため、平成26年度予算案は、平成26年度計画の重点分野（①地（知）の拠点整備事業の着実な実践、②国際交流推進体制の整備、③学生確保、学生支援の充実強化）を中心とする同年度計画の着実な実施に必要な事業に対し、重点的かつ効果的に措置することを基本方針として編成を行いました。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、32億6百万円で、前年度予算（30億75百万円）に比べ、4.2%増（1億31百万円増）となっています。

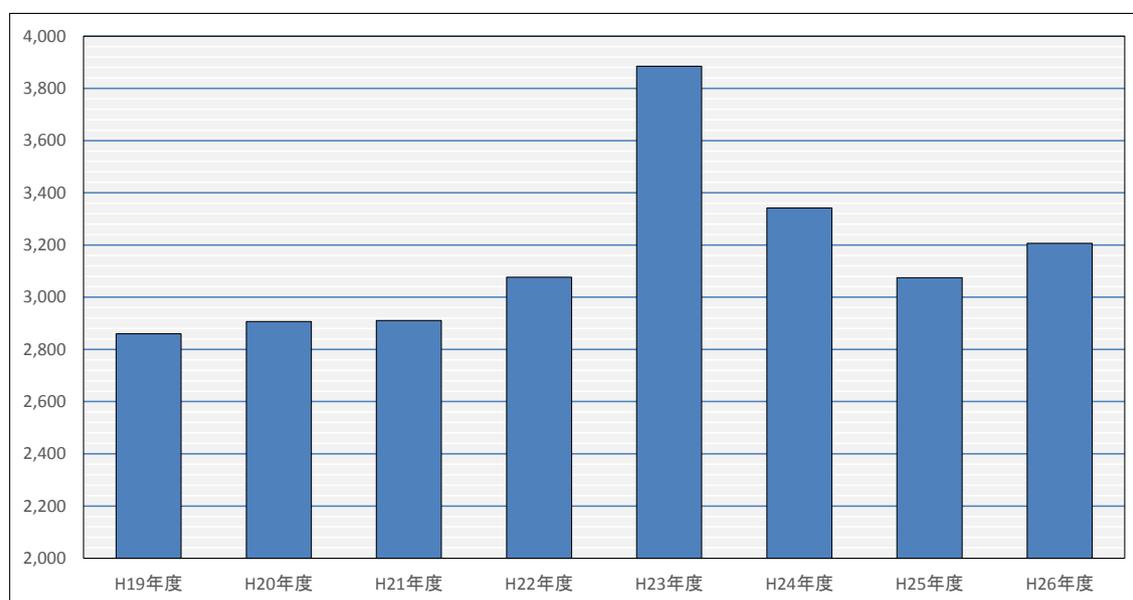
(単位:千円、%)

区 分	平成26年度当初	平成25年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,206,120	3,075,479	130,641	4.2

【参考 当初予算規模の推移】

(単位:百万円)

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,075	3,206

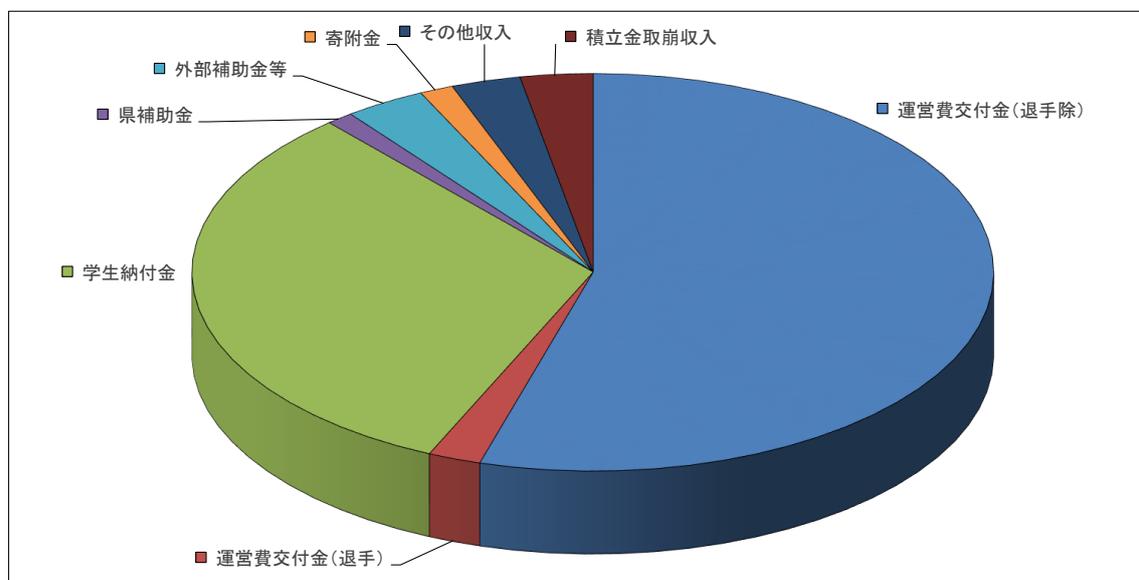


2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成26年度当初		平成25年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,749,159	54.6	1,764,860	57.4	▲15,701	▲0.9
学生納付金	1,021,600	31.9	999,993	32.5	21,607	2.2
県補助金	35,154	1.1	102,393	3.3	▲67,239	▲65.7
外部補助金等	104,953	3.3	58,573	1.9	46,380	79.2
寄附金	43,500	1.4	47,000	1.5	▲3,500	▲7.4
その他収入	89,584	2.8	85,768	2.8	3,816	4.4
計	3,043,950	94.9	3,058,587	99.5	▲14,637	▲0.5
運営費交付金(退手)	68,248	2.1	16,892	0.5	51,356	304.0
積立金取崩収入	93,922	2.9	0	0.0	93,922	皆増
合 計	3,206,120	100.0	3,075,479	100.0	130,641	4.2

- 運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の88.6%を占めています。
 - 運営費交付金（退職手当除き）は、効率化（▲1.0%）、標準収入の見直し等により、総額で16百万円減（▲0.9%）となっています。
 - 学生納付金は、四大化した出雲キャンパスの学年進行等により、22百万増（+2.2%）となっています。
 - 県補助金（大規模修繕等の特殊要因経費に対し10/10補助）は、通常事業分（浜田キャンパス講堂タイル修繕工事及び松江キャンパス音楽棟各部屋内装修繕）を予定し、67百万円減（▲65.7%）となっています。
 - 外部補助金等は、文部科学省教育関係補助金等を計上し、46百万円増（+79.2%）となっています。
 - 寄附金は、島根県立大学未来ゆめ基金事業及び旧北東アジア学術交流財団寄附金事業に充てるための収入を計上し、4百万円減（▲7.4%）となっています。
 - 積立金取崩収入は、前中期目標期間繰越積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上し、94百万円増（皆増）となっています。
- ※目的積立金充当事業・・・教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、業務改善、環境整備等に資する事業



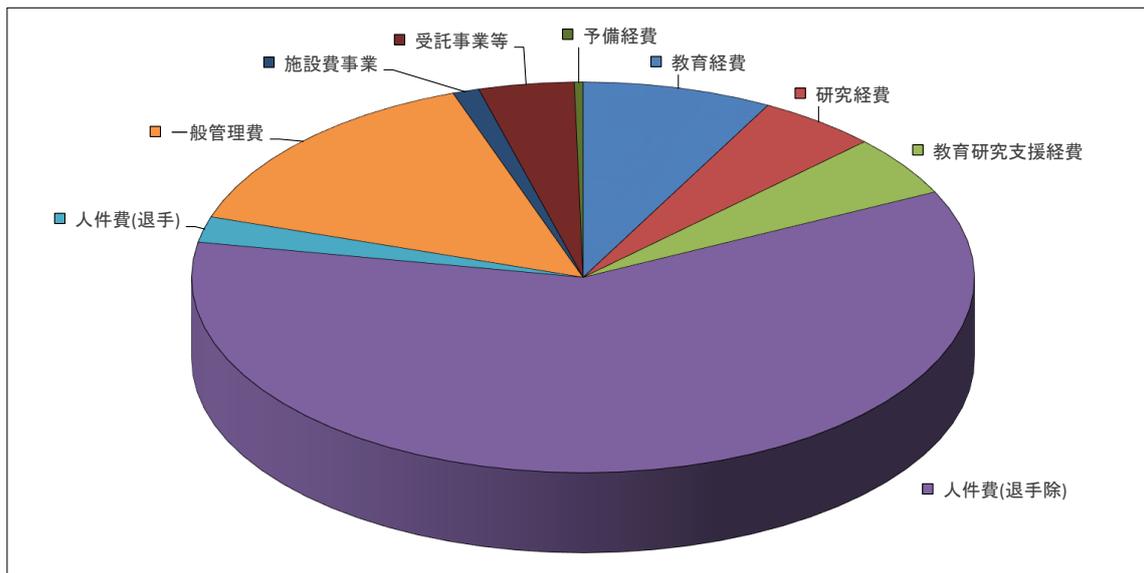
3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成26年度当初		平成25年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	251,921	7.9	248,886	8.1	3,035	1.2
研究経費	158,744	5.0	173,607	5.6	▲14,863	▲8.6
教育研究支援経費	160,709	5.0	166,481	5.4	▲5,772	▲3.5
人件費(退手除)	1,926,297	60.1	1,889,227	61.4	37,070	2.0
一般管理費	467,723	14.6	402,066	13.1	65,657	16.3
施設費事業	35,154	1.1	85,359	2.8	▲50,205	▲58.8
受託事業等	126,383	3.9	81,004	2.6	45,379	56.0
予備経費	10,941	0.3	11,957	0.4	▲1,016	▲8.5
計	3,137,872	97.9	3,058,587	99.5	79,285	2.6
人件費(退手)	68,248	2.1	16,892	0.5	51,356	304.0
合 計	3,206,120	100.0	3,075,479	100.0	130,641	4.2
特定財源支出除き	2,882,413		2,875,190		7,223	0.3

- 教育経費は、海外留学奨学金の拡充、全学国際交流センター（仮称）計画検討事業等により、3百万円の増を見込んでいます。
- 研究経費は、神々の国しまねプロジェクト～国際学術シンポジウム2013関係経費の減等により、15百万円の減を見込んでいます。
- 教育研究支援経費は、情報システムの保守管理経費の見直し等による経費節減により6百万円の減を見込んでいます。
- 人件費（退職手当を除く。）は、管理職手当支給対象者の追加（全学運営組織副センター長）、昇給及び昇格に伴う増、任期付事務職員の一般職員登用等により、37百万円の増を見込んでいます。
- 一般管理費は、法人広報誌の作成等広報活動経費の増、施設管理経費の増等により、66百万円の増を見込んでいます。
- 施設費事業は、県補助金を財源とした大規模修繕等の事業を計上しています。
- 受託事業等は、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円を計上し、地（知）の拠点整備事業の採択による増等により、45百万円の増を見込んでいます。
- 予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、11百万円を計上しています。
- 支出総額は、1億31百万円増（+4.2%）となっていますが、特定財源による支出を除くと28億82百万円で、前年度に比べ7百万円増（+0.3%）となっています。

※特定財源：運営費交付金(退手)、県補助金、外部補助金、受託研究等収入、旧NEAR寄附金、積立金取崩収入



4. 事業概要

重点分野

1. 地(知)の拠点整備事業の着実な実践

- | | |
|--|----------|
| (1) 地(知)の拠点整備事業(全C)〈継続〉 | 56,983千円 |
| ・平成25年度に文部科学省により国庫補助事業として選定された「地(知)の拠点整備事業」について、平成29年度までの事業期間の2年目の事業として、計画に基づき、地域のニーズ(要望)と大学のシーズ(資産)のマッチング(=縁結び)、3キャンパス共通科目「しまね地域共生学入門」の準備、松江キャンパスにおける「地域志向カリキュラム」の開講及び評価等、事業の本格実施に向けた取組を実行する。 | |

2. 国際交流推進体制の整備

- | | |
|---|---------------------|
| (1) 全学国際交流センター(仮称)計画検討事業(浜田C)〈新規〉 | 501千円 |
| ・全学国際交流センター(仮称)の設置に向け、交流先大学、留学プログラム、留学生支援内容等の検討、同センター設置のための制度設計等を行う。 | |
| (2) JCSOS緊急事故支援システム加入(法人本部)〈新規〉 | 775千円 |
| ・学生の海外派遣に係るサポート体制を強化するため、海外派遣中の緊急事態発生時に情報収集等のサービスを提供するNPO法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)に加入する。 | |
| (3) 海外留学・海外研修等に係る奨学金(全C)〈拡充〉 | 22,022千円 |
| ・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、奨学金制度を継続・拡充し、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。 | |
| ① 海外留学奨学金(浜田C) | ※島根県立大学未来ゆめ基金充当予定事業 |
| ・学長の許可を受けて協定留学(ダブルディグリー、交換留学、派遣留学)する学生に奨学金を支給する。
※新たな派遣先(韓国培材大学校、中国寧夏大学、米国ワナチ・バレーカレッジ) ※(H25実績) 8名 | |
| ② 海外研修奨学金等(全C) | |
| ・異文化理解研修、海外企業研修等に参加する学生に奨学金を支給する。 ※(H25実績) 154名 | |
| (4) CWUとの交流25周年記念誌刊行(松江C)〈新規〉 | 941千円 |
| ・平成27年度にCWU(米国セントラルワシントン大学)との交流開始25周年を迎えるのに先立ち記念誌を作成する。(平成27年度に記念事業予定) | |

3. 学生確保、学生支援の充実強化

- | | |
|---|----------|
| (1) オープンキャンパスの充実(全C)〈拡充〉 | 6,960千円 |
| ・出雲キャンパスにおけるオープンキャンパス2回開催等、各キャンパスのオープンキャンパス開催内容の充実を図るとともに、オープンキャンパスの参加者増加に資する広報活動を集中的に実施する。 | |
| (2) 別科志願者確保に係る看護師養成所訪問等(出雲C)〈新規〉 | 1,026千円 |
| ・本学看護学部からの入学者のない平成27年度別科助産学専攻の志願者確保のため、中四国各県の看護師養成所への訪問、別科を紹介するDVD及びパンフレットの作成を行う。 | |
| (3) 授業料奨学制度(全C)〈拡充〉 | 90,604千円 |
| ・意欲ある学生への学修支援を行うために、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金、成績優秀者奨学金等を学生に給付する。 | |
| (4) 公務員試験対策講座実施支援事業(浜田C)〈拡充〉 | 2,260千円 |
| ・試験対策専門講座の実施により、公務員試験合格をめざす学生の支援を行う。
(島根県立大学後援会に対する補助) ※チューター等謝金、WEB講座等受講料助成 | |
| (5) キャリア支援プログラム(看護実践研修等)の実施(出雲C)〈継続〉 | 647千円 |
| ・卒業後の進路を検討する機会や看護職としての接遇について学ぶ機会を提供するため、離島、中山間地域での看護研修やマナーアップ講座を実施する。 | |

※重点分野に対応する主な事業を掲載

重点広報事業

1. 大学情報の発信

- | | |
|--|----------|
| (1) 法人広報誌作成(法人本部)〈拡充〉 | 6,229 千円 |
| ・平成25年度創刊した法人広報誌「オロリン」を定期的に発行し、地域へ大学情報を発信するとともに、送付先を県外の高等学校に拡大し、広報の充実を図る。
※発行予定(年2回) ※印刷部数(43,000部) ※配布先(県、市町村、高等学校、保護者等) | |
| (2) 広報基盤整備事業(法人本部)〈新規〉 | 2,825 千円 |
| ・大学情報の発信に係る教職員の意識の向上のための研修会の開催及び広報スタンドの公共施設等への配置を行い、広報推進体制の整備を図る。 | |
| (3) ホームページ改修検討委員会設置(法人本部)〈新規〉 | 258 千円 |
| ・ホームページの改修(トップページ、スマートフォン対応等)について、委員会を設置して検討する。 | |

2. 学生募集広報の充実

- | | |
|---|---------------|
| (1) オープンキャンパス広報充実(法人本部)〈新規〉 | 2,892 千円 (再掲) |
| ・オープンキャンパスの参加者増加に資する広報活動を集中的に実施する。
※CM制作、放送(民放3社、CATV)、新聞広告(地元紙) | |
| (2) 別科助産学専攻紹介DVD作成(出雲C)〈新規〉 | 432 千円 (再掲) |
| ・本学看護学部からの入学者のない平成27年度別科助産学専攻の志願者確保のため、別科を紹介するDVDを作成する。 | |
| (3) 大学案内別冊Q&A集作成(法人本部)〈新規〉 | 567 千円 |
| ・高校訪問等の際に活用するため、受験生、保護者、高校教員等から寄せられる質疑及びそれに対する回答を取りまとめたQ&A集を作成する。 | |

その他主要事業

1. 教育・学生支援

- | | |
|--|----------|
| (1) 大学院生学会発表等旅費等支援事業(浜田C)〈継続〉 | 1,207 千円 |
| ・大学院生による研究成果の発表、学会参加を奨励し学術研究を促進させるため、大学院生が学会発表、学会参加する際の旅費等を助成する。 | |
| (2) 「島根の地域医療」フィールドワークの実施(出雲C)〈拡充〉 | 1,543 千円 |
| ・2年次生が受講する科目「島根の地域医療」において、離島、中山間地域をはじめとする地域医療の現状を学ぶため、グループ単位でのフィールドワークを実施する。 | |
| (3) 助産学新カリキュラム対応備品整備(出雲C)〈新規〉 | 1,117 千円 |
| ・助産学教育で使用するシミュレーターの更新及び新規整備を行う。
※妊婦腹部触診モデル(2台:更新)、布製胎児モデル(2セット:新規) | |
| (4) 学部公衆衛生看護学教育関連備品整備(出雲C)〈新規〉 | 2,679 千円 |
| ・公衆衛生看護分野における演習及び実習で使用する備品の整備を行う。
※乳児モデル人形(4体:新規)、新生児モデル人形(4体:更新)
※乳幼児体重計、身長計(各5台:追加整備)等 | |

(5) 「おはなしレストラン」事業(松江C)〈継続〉	8,264 千円
・絵本の読み聞かせを通じた学生の人間力育成のため、絵本文庫の運営、おはなしシェフの養成及び広く県民を対象とした読み聞かせ活動を実施する。	
(6) 学生地域ボランティア活動推進事業(全C)〈継続〉	650 千円
・学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、活動中の不測の事態に備えるための保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を行い、学生ボランティア活動の推進を図る。	

2. 研究

特許の更新及び産学官連携事業(松江C)〈新規〉	486 千円
・平成23年度登録の特許2件の更新及び実用化に向けた情報提供、情報収集等を行う。 ※更新手数料、パンフレットの作成、臨床研究意見交換の実施等	

3. 県特殊要因経費補助金(大規模修繕等) 35,154 千円

①浜田C: 講堂タイル修繕工事	22,086 千円
②松江C: 音楽棟各部屋内装修繕	13,068 千円

4. 旧北東アジア地域学術交流財団(旧NEAR財団) 寄附金事業 40,000 千円

①北東アジア学研究プロジェクト事業	5,500 千円
②西周プロジェクト事業	700 千円
③共同プロジェクト研究助成事業	6,500 千円
④学術図書出版助成事業	2,000 千円
⑤研究員等招へい派遣助成事業	1,000 千円
⑥地域貢献プロジェクト助成事業	3,900 千円
⑦国際学術交流事業	3,805 千円
⑧交流県留学生等教育支援事業(奨学金、語学研修)	7,300 千円
⑨大学院留学生教育支援事業(奨学金、語学研修)	8,095 千円
⑩国際文化交流促進事業	1,200 千円